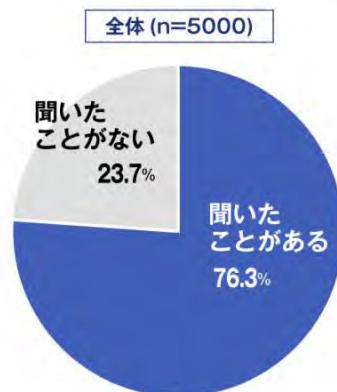


折り返し点を迎えたSDGsと これからの変革へ向けて

慶應義塾大学大学院教授

蟹江憲史

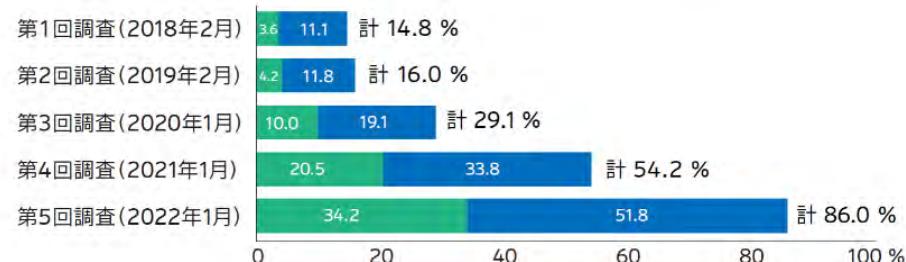
あなたは「SDGs」という言葉を聞いたことがありますか



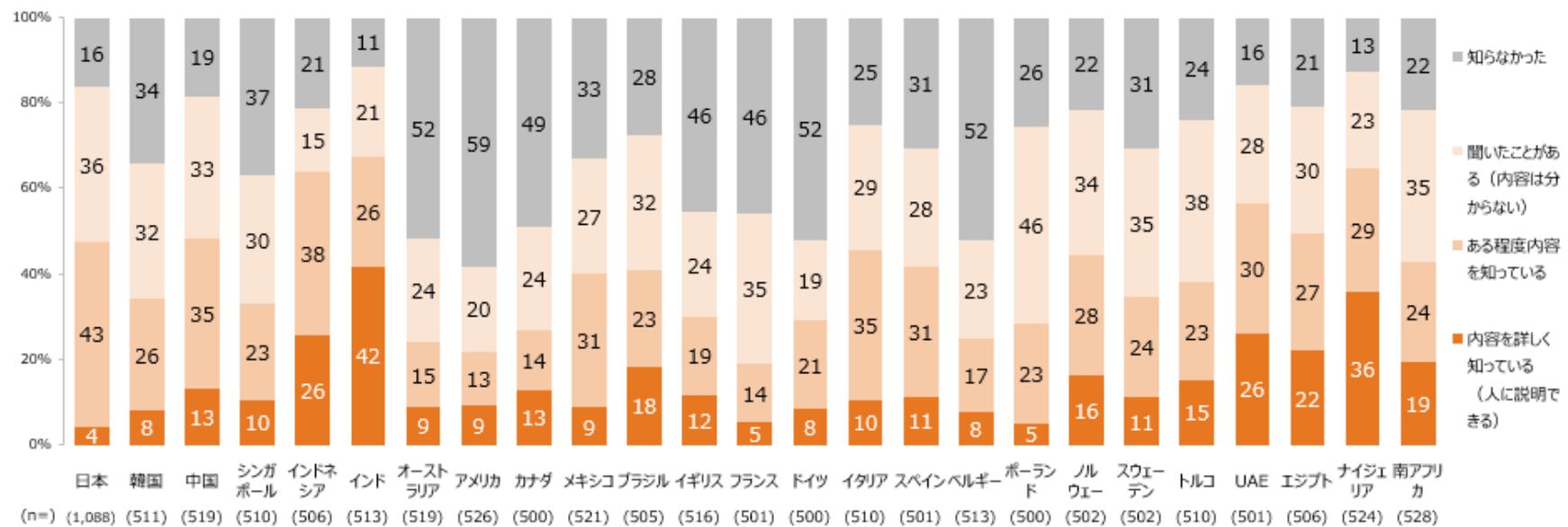
朝日新聞第8回認知度調査より（2021年12月実施）

図表1：SDGsの認知率（時系列）

■ 内容まで含めて知っている ■ 内容はわからないが名前は聞いたことがある



電通第5回「SDGsに関する生活者調査」（2022年1月実施）



公益財団法人旭硝子財団「生活者の環境危機意識調査」（日本と海外24か国で実施、2022年）

- ・日本のSDGs認知度は最高レベル
- ・日本においてSDGsの内容を知っている割合は最低レベル

SDGs – 持続可能な開発目標

～ 2030年の世界の姿 ～

2030年への
世界目標

17目標
169ターゲット
231 (247) 指標

全ての国・企業
等の主体に普遍
的に適用

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための 17 の目標

進捗レビュー
(法的義務なし)



世界の変革

だれ一人取り残
されない

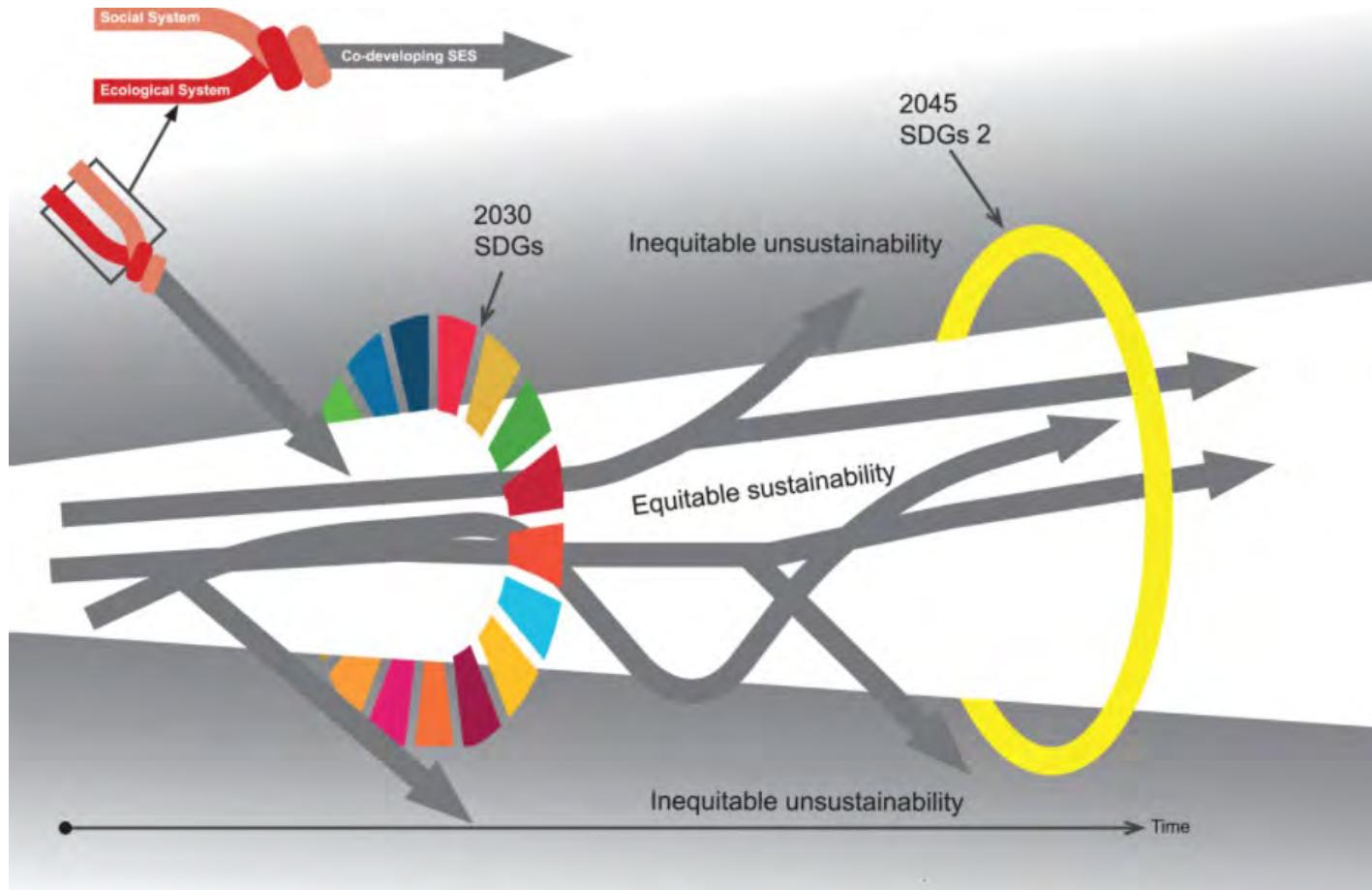


SDGs=2030年の先の世界の常識



1. 2030アジェンダのタイトル「我々の社会を変革する（Transforming Our World）」
 - コロナ禍は変革へのラストチャンス
 - 企業活動もパラダイム・価値観を大きく変える必要がある
2. 「目標ベースのガバナンス（governance through goals）」
 - 野心レベルの提示からスタート／国連でルールを決めない
→ イノベーション → サステナビリティの標準化へ
3. 進捗の評価・レビューが唯一のメカニズム
 - 指標 + 4年に1度の「グローバル持続可能な開発報告書（GSDR）」による評価報告
 - DXとの親和性大→計測
 - 投資家や日経なども評価→SDGsへの対応如何が投資先を決めるに
4. 総合的目標：17目標は一体で不可分
 - Coherent Action

その先の世界を可能にするための道しるべ



SDGsを巡る現状

Sustainable Development Goals Report

• グローバル指標に基づく世界全体の進捗評価



END POVERTY IN ALL ITS FORMS EVERYWHERE

MORE THAN
4 YEARS OF PROGRESS
AGAINST POVERTY
HAS BEEN ERASED
BY COVID-19



RISING INFLATION AND IMPACTS OF WAR IN UKRAINE FURTHER DERAIL PROGRESS

NUMBER OF PEOPLE LIVING IN EXTREME POVERTY IN 2022

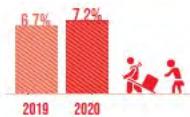


PRE-PANDEMIC
PROJECTION



CURRENT
PROJECTION

WORKING POVERTY
RATE ROSE FOR THE FIRST
TIME IN TWO DECADES



PUSHING AN ADDITIONAL
8 MILLION WORKERS
INTO POVERTY

UNEMPLOYMENT
CASH BENEFITS
DURING THE PANDEMIC (2020)



DISASTER-RELATED DEATHS ROSE SIXFOLD IN 2020



LARGELY AS A RESULT OF THE PANDEMIC



ENSURE SUSTAINABLE CONSUMPTION AND PRODUCTION PATTERNS

UNSTAINABLE PATTERNS

OF CONSUMPTION AND PRODUCTION ARE ROOT CAUSE OF

TRIPLE PLANETARY CRISSES



CLIMATE
CHANGE



BIODIVERSITY
LOSS



POLLUTION

OUR RELIANCE ON
NATURAL RESOURCES
IS INCREASING

RISING OVER
65% GLOBALLY
FROM
2000 TO 2019



VAST MAJORITY OF THE
WORLD'S ELECTRONIC WASTE IS
NOT BEING SAFELY MANAGED

E-WASTE COLLECTION RATES (%)



LATIN AMERICA
AND THE
CARIBBEAN



SUB-SAHARAN
AFRICA



EUROPE AND
NORTHERN
AMERICA



GLOBAL AVERAGE

TOO MUCH FOOD IS BEING LOST OR WASTED
IN EVERY COUNTRY EVERY DAY



HARVESTING



TRANSPORT



STORAGE



PROCESSING

13.3% OF THE WORLD'S FOOD IS LOST AFTER HARVESTING
AND BEFORE REACHING RETAIL MARKETS



HOUSE



GROCERY STORE

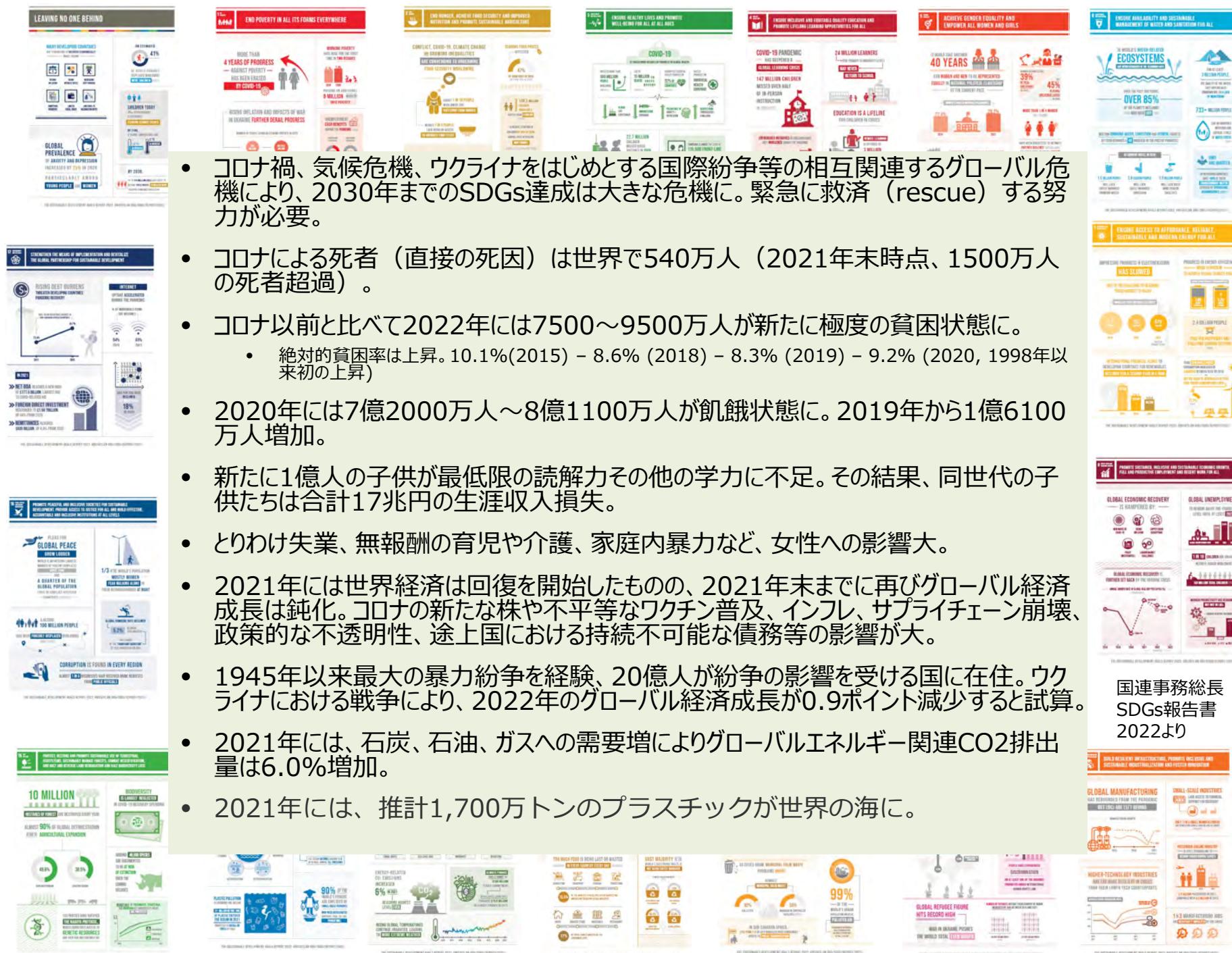


HOUSEHOLD



RESTAURANT

17% OF TOTAL FOOD IS WASTED AT THE
CONSUMER LEVEL



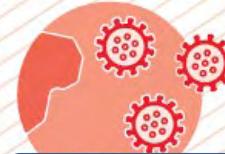
国連事務総長
SDGs報告書
2022より



DISASTER-RELATED DEATHS ROSE SIXFOLD IN 2020



LARGELY AS A RESULT OF THE PANDEMIC



災害関連死6倍



GENDER-RESPONSIVE BUDGETING NEEDS TO BE STRENGTHENED

ジェンダー
ベースの予算
策定実施は
26%のみ



ALLOCATIONS
[2018-2021]

MEETING DRINKING WATER, SANITATION AND HYGIENE TARGETS
BY 2030 REQUIRES A **4X** INCREASE IN THE PACE OF PROGRESS



SDGsターゲット達成には今の4倍
の努力が必要

MANY COUNTRIES ARE **IMPROVING** SCHOOL INFRASTRUCTURE AS CLASSROOMS REOPEN

GLOBALLY,
PRIMARY SCHOOLS
[2019-2020]



ELECTRICITY DRINKING WATER BASIC SANITATION



COMPUTERS INTERNET ACCESS

遠隔授業
はウクライ
ナの300
万人の子
どもたちへ

多くの国でパンデミックを経て学校のインフラ改善

1 IN 10 CHILDREN ARE ENGAGED
IN CHILD LABOUR WORLDWIDE



1億6千万人児童労働

160 MILLION TOTAL CHILDREN [2020]

CORRUPTION IS FOUND IN EVERY REGION

ALMOST **1 IN 6** BUSINESSES HAVE RECEIVED BRIBE REQUESTS
FROM PUBLIC OFFICIALS

6社に1社が公務員から
のわいろ要求を受ける

10 MILLION

HECTARES OF FOREST ARE DESTROYED EVERY YEAR



毎年1千万ヘクタールの
森林喪失

EDUCATION IS A LIFELINE
FOR CHILDREN IN CRISES



REMOTE LEARNING
IS OFFERED TO
3 MILLION
UKRAINIAN CHILDREN
IN THE CHAOS OF WAR
[APRIL 2022]

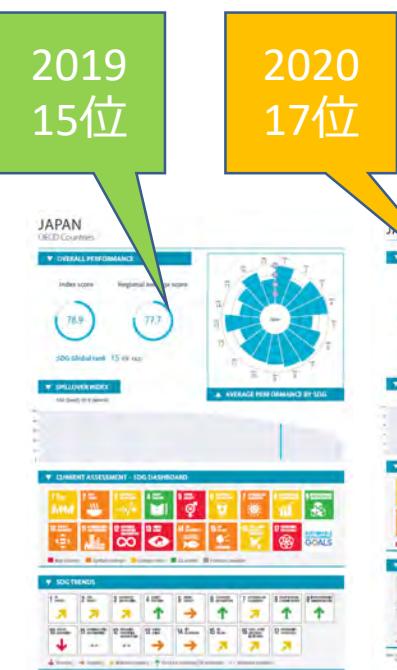
日本の弱みは社会・環境のサステナビリティと経済の統合

経済力だと...



2019
15位

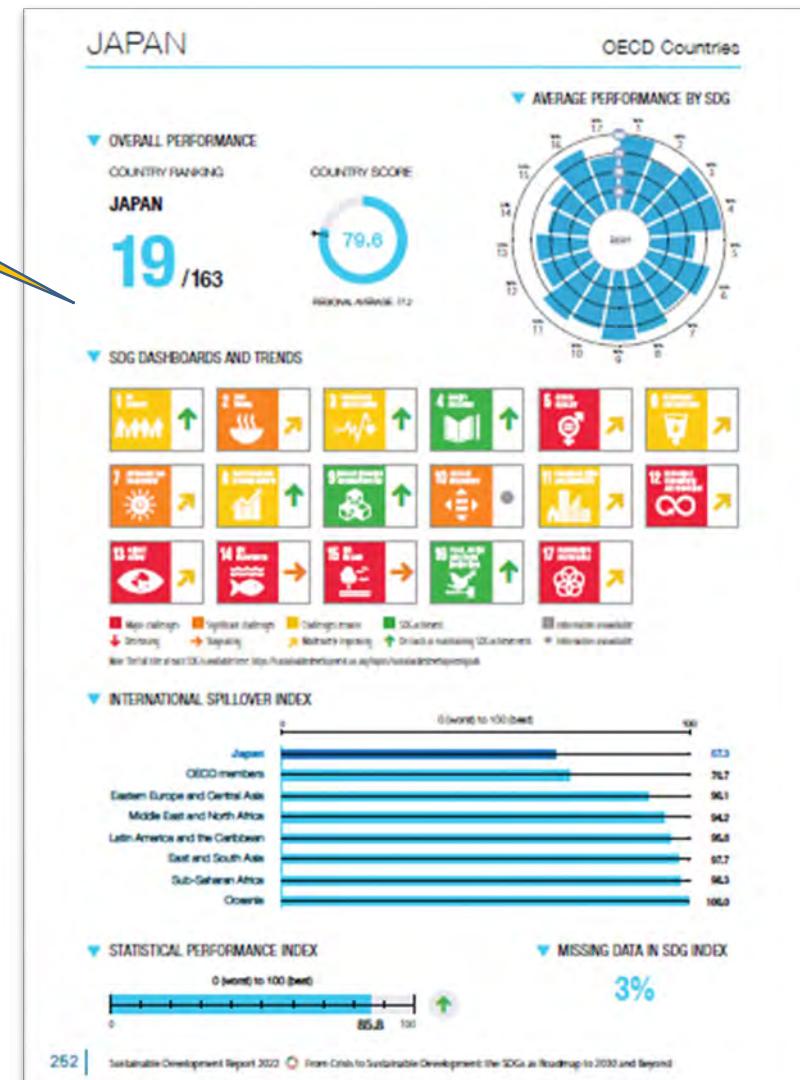
2020
17位



2022
19位



<https://dashboards.sdgindex.org/profiles/japan>



SDGsをめぐる日本政府の主なプロセス

G7 伊勢志摩サミット

2016年

5月20日

総理を本部長、全閣僚を構成員とするSDGs推進本部を設置

9月12日

第1回円卓会議を開催

10月18日

実施指針の骨子を決定（推進本部幹事会決定）

12月22日

実施指針を決定（推進本部決定）

2017年

7月

国連ハイレベルポリティカルフォーラムにて日本レビュー発表

12月

第1回ジャパンSDGsアワード

「SDGsアクションプラン2018」発表

2019年

6月

「拡大版SDGsアクションプラン2019」

12月

第3回ジャパンSDGsアワード

円卓会議主催「実施指針改定へ向けたステークホルダー会議」

「SDGsアクションプラン2020」発表

SDGs実施指針改訂

国連SDGサミット(9月)

2021年

7月

国連ハイレベルポリティカルフォーラムにて日本レビュー発表

2022年

7月

「第1回SDGs実施指針改定へ向けたパートナーシップ会議」

10月

「第2回SDGs実施指針改定へ向けたパートナーシップ会議」

12月

提言提出（円卓会議→推進本部）

2023年

5月G7

9月国連SDGサミット・GSDR公表

12月実施指針改定？

仕組みづくりの課題

- 1) 実施指針による弱い法的基盤：推進本部が「司令塔」の役割を果たしていない
- 2) Transformationを実現するための権威が欠如
- 3) 国民の声を反映する仕組みが弱い：円卓会議の声が反映されているかが不透明

SDGs推進実施指針(2016年)
SDGs実施指針改定版 (2019年)

SDGs推進本部
(本部長：内閣総理大臣)

SDGs推進円卓会議
(議長：?)
事務局：内閣官房（外務省地球環境審議官）

政策における課題

- 1) 「アクションプラン」は既存政策ベース：transformationを誘因しない
- 2) 「アクションプラン」のフォローアップとレビュー体制がない
- 3) そもそも「日本のターゲット」がない
- 4) 従って行動のチェック機能がない

- 6月と12月のSDGs推進本部開催（年2回）
- 円卓会議は2020年から分科会設置（進捗評価、環境、広報、教育の4分科会）
- SDGs実施指針改定へ向けた円卓会議主導の国民会議（2019、2022）
- アクションプラン（政策を集めたリスト）とアワード

パートナーシップ会議

日本のターゲットを検討する

- 2023年国連SDGsサミット／実施指針改定へ
向けた提言を検討する国民対話
- 22年7月～年末のプロセスを経て政府に提言
 - 日本のターゲットや目標（進捗管理方法や実施の仕組みも含む）を2022年末までに円卓会議から推進本部へ提案する
 - 第1回（7月27日）、第2回（10月24日）
 - 第1回と第2回の間の円卓会議外での様々な関連会議成果もインプット

3つのポイント

- SDGs推進基本法の制定が必要
 - 来年のG7、SDGsサミットへ向けたリーダーシップのカギ
 - 議員立法での制定。
 - 内閣府あるいは内閣官房に事務局を置いて定常的な政策実施が必要
- 日本のターゲット制定が必要
 - 2030アジェンダ（パラ55に明記）に誠実に応答する必要
 - 国としてのターゲット設定：ターゲットは、地球規模レベルでの目標を踏まえつつ、各国の置かれた状況を念頭に、各國政府が定めるものとなる。また、各々の政府は、これら高い目標を掲げるグローバルなターゲットを具体的な国家計画プロセスや政策、戦略に反映していくことが想定されている。（2030アジェンダ パラ55）
- SDGsの本質は成長戦略
 - ほんとうの訳は「持続的成長の将来像」
 - サステナビリティが国際競争力を決定：電気自動車、再エネ、人権デューディジェンス…
 - 新たなコラボレーション（パートナーシップ）がビジネスチャンスに
 - 好事例のスケールアップは政策の仕事

SDGs legislation in G7 and G20 countries

G7 Countries	Legislation	Basic plan
Canada	O	O
France	X	O
Germany	X	O
Italy	X	O
Japan	X	O
United Kingdom	X	X
(Wales)	O	O
USA	X	X
※EU	X	O

G20 Countries	Legislation	Basic plan
South Korea	O	O
China	X	O
Indonesia	X	O
Saudi Arabia	X	O
Argentina	X	X
Australia	X	X
Brazil	X	X
India	X	X
Mexico	X	X
Russia	X	X
South Africa	X	X
Turkey	X	X

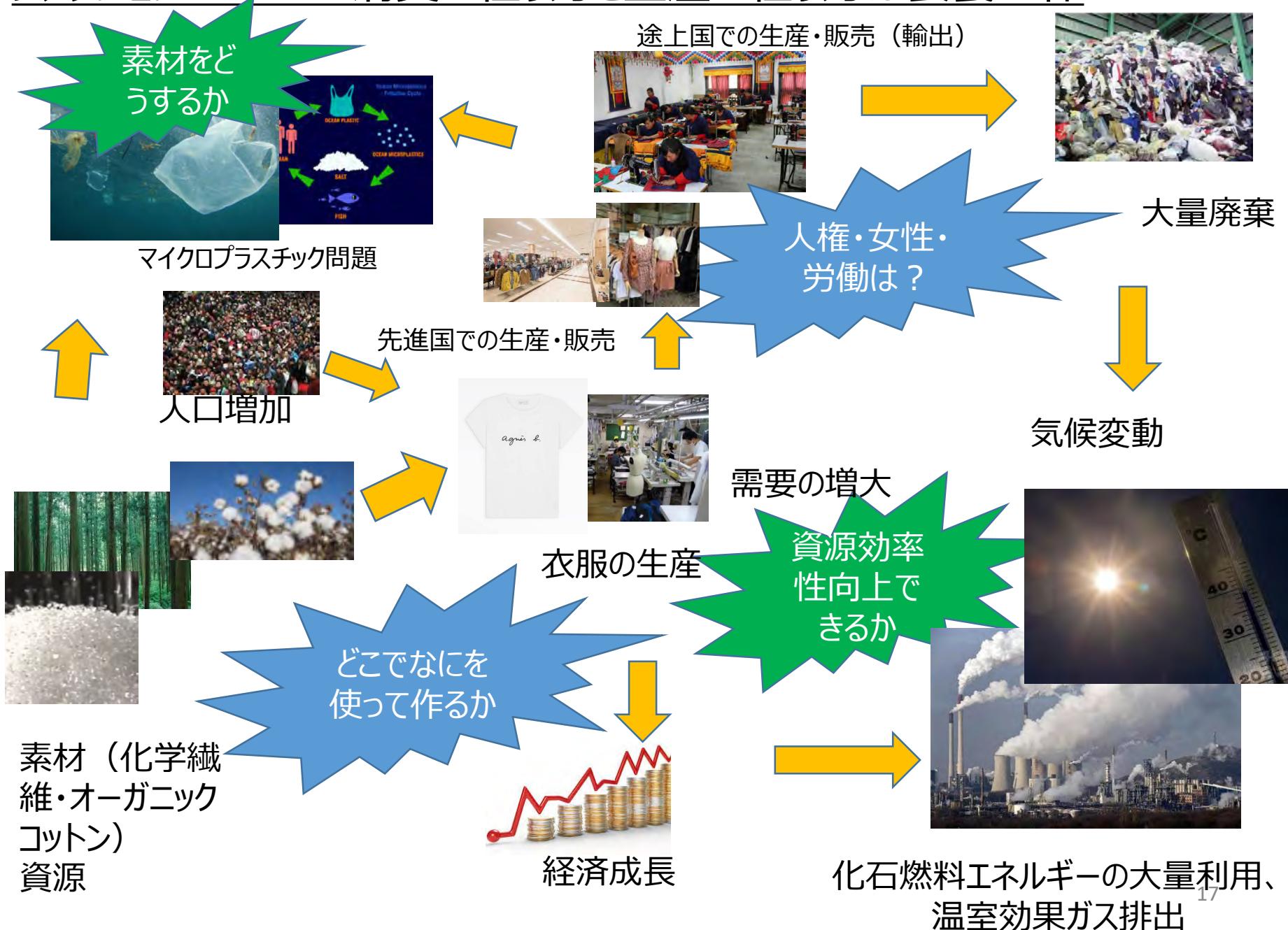
※2022.12.02

SDGs達成への取り組みと 消費と生産

12.6

企業、特に大企業や多国籍企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう促す。

ファッションxSDG…消費の在り方と生産の在り方は表裏一体



ファッションxSDG

素材をどうするか



途上国での生産・販売（輸出）



人権・女性・
労働は？

人口増加



先進国での生産・販売



需要の増大



どこでなにを
使って作るか

素材（化学繊
維・オーガニック
コットン）
資源



経済成長

化石燃料エネルギーの大量利用、
温室効果ガス排出

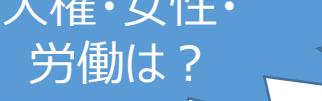


大量廃棄



気候変動

資源効率
性向上で
きるか



建築プロセスにおける生産側・消費側対応とSDG17目標

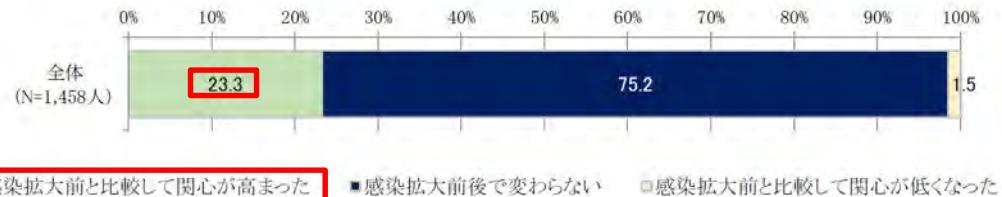


コロナ禍関心の上がるエシカル消費

- コロナ前後でのエシカル消費への関心及び取組状況の変化について約4人に1人が「関心が高まった」、約5人に1人が「実践の機会が増えた」と回答

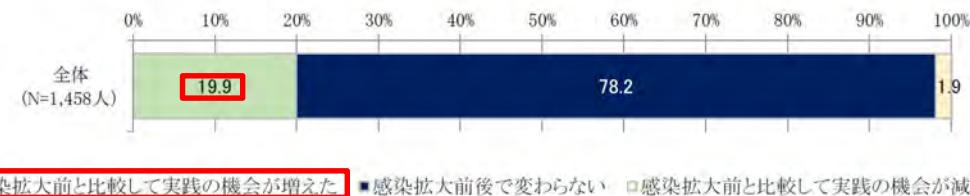
○意識調査結果(エシカル消費への関心の度合いの変化)

問4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの関心の度合いの変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。



○意識調査結果(エシカル消費への取組状況の変化)

問5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比較して、エシカル消費に関するあなたの取組状況の変化について、最も当てはまるものを1つ選んでください。



出典：「令和3年10月物価モニター調査結果（速報）」（2021年10月20日消費者庁公表）

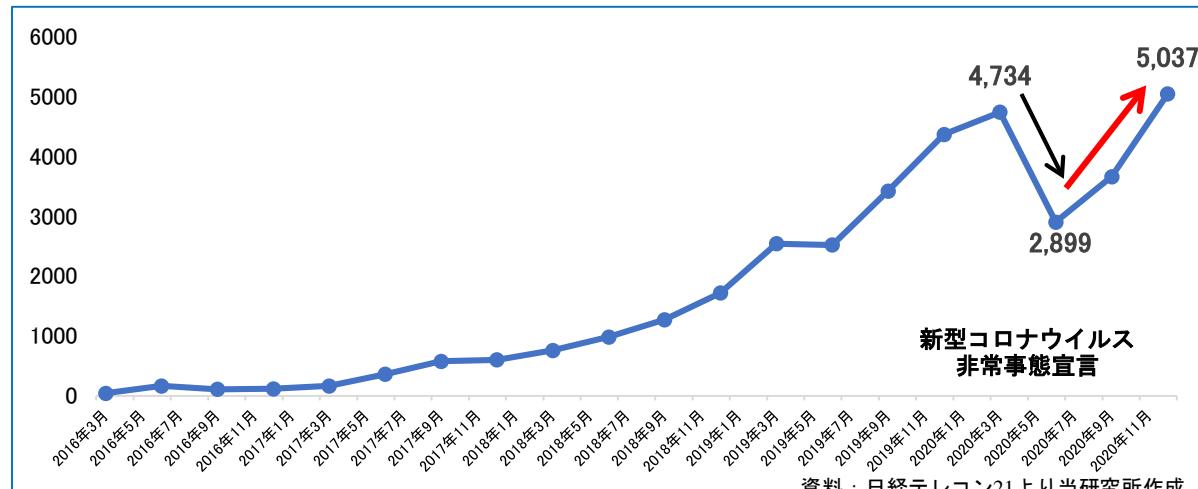
コロナ禍でも堅調なESG投資

2020年のESG投資額は35兆3千億ドル（約3880兆円、18年の前回調査から15%増）

- 欧州 12兆170億ドル（約1320兆円、15%減） ←グリンウォッシュ回避のため基準強化
 - 運用資産全体の42%
- 米国 17兆810億ドル（約1880兆円、42%増）
 - 運用資産全体の33%
- 日本 2兆8740億ドル（約320兆円、32%増）
 - 運用資産全体の24%

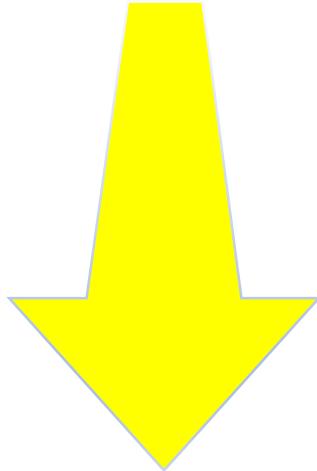
（世界持続可能投資連合（GSIA）2021）

[図表1]「SDGs」の新聞記事掲載件数推移



ESG投資→「今」を基準に考えたときの環境（E）・社会（S）・企業のガバナンス（G）を重視した投資

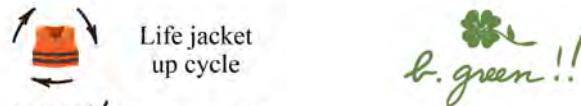
エシカル消費→「今」倫理的に正しいことを重視した消費



SDGs→「未来」のかたち
世界で共有された未来のあり方を示したもの

消費者志向が生産も動かす力に

◆消費者がサステナブルに ⇔ 生産者が動かされる



◆ライフサイクルを通じたSDGsへの貢献



来し方行く末を考えることで新たな価値を創造する【サプライチェーンで考える】

・ボルボのレザーフリーへの取り組み

- 「高級」の意味の変換へ：再生プラスチックや菌糸によ纖維づくりへのチャレンジで「高級」車の創出へ
- 2040年までに循環型に移行
- 2025年までにサプライヤーに100%再エネ要求

・マニフレックスのマットレスづくり

マットレスで 考える	つくる責任	つかう責任
 マニフレックス	<p>①原材料・製法</p> <p>水を使って生成する 独自開発の高反発フォーム エリオセル®</p> <p>人物にも地球環境にも やさしいご素材</p> <p>● プラスチック ゼロ ● スプリング ゼロ ● 有毒 ガス ゼロ</p> <p>②輸送・梱包</p> <p>真空ロールパッケージにより 1/8に体積を圧縮して輸送可能 輸送コスト・温湿化ガスの排出=▲</p>	<p>購入</p> <p>製品寿命 = 長 → 買い替え・廃棄 = 少</p> <p>10年保証 12年保証 15年保証</p> <p>10 YEARS WARRANTY 12 YEARS WARRANTY 15 YEARS WARRANTY</p> <p>10年、12年、15年の長期保証 買い替え＆廃棄の頻度を減らします</p> <p>廃棄</p> <p>プラスチック ゼロ スプリング ゼロ 有毒 ガス ゼロ</p>
 一般的なマットレス	<p>代表的な芯材</p> <p>プラスチック ファイバーフィル材 コイルスプリング材 低反発素材</p> <p>そのままの大きなサイズでお届け 輸送コスト・温湿化ガスの排出=▲</p>	<p>購入</p> <p>製品寿命 = 短 → 買い替え・廃棄 = 多</p> <p>購入 購入 購入</p> <p>廃棄 廃棄 廃棄</p> <p>プラスチックバイバー 海洋プラスチック問題</p> <p>ゴイルスプリング 粗大ごみ問題</p> <p>低反発素材 大気汚染問題</p>



- ・なんとなくイメージで選ぶ
- ・値段が安いから選ぶ

メーカー 粗悪な商品を生産し、嘘・模倣・やらせの広告・PRで販売

消費者 なんとなくイメージで、値段の安さで買う・使う

消費者がだまされて買っててくれるから

メーカー 粗悪な商品を生産し、嘘・模倣・やらせの広告・PRで販売

消費者 なんとなくイメージで、値段の安さで買う・使う

Marketing and Sales dep.

メーカー 粗悪な商品を生産し、嘘・模倣・やらせの広告・PRで販売



消費者が知識を身に着けて、正しい商品を選ぶようになれば・・・

消費者 安全な原材料・製法か、長期間使えるか、捨てる時にごみを出さないか

メーカー 商品を作つても売れな

メーカー

↓
倒産・廃業へ

エシカル消費

(倫理的・道徳的な消費)

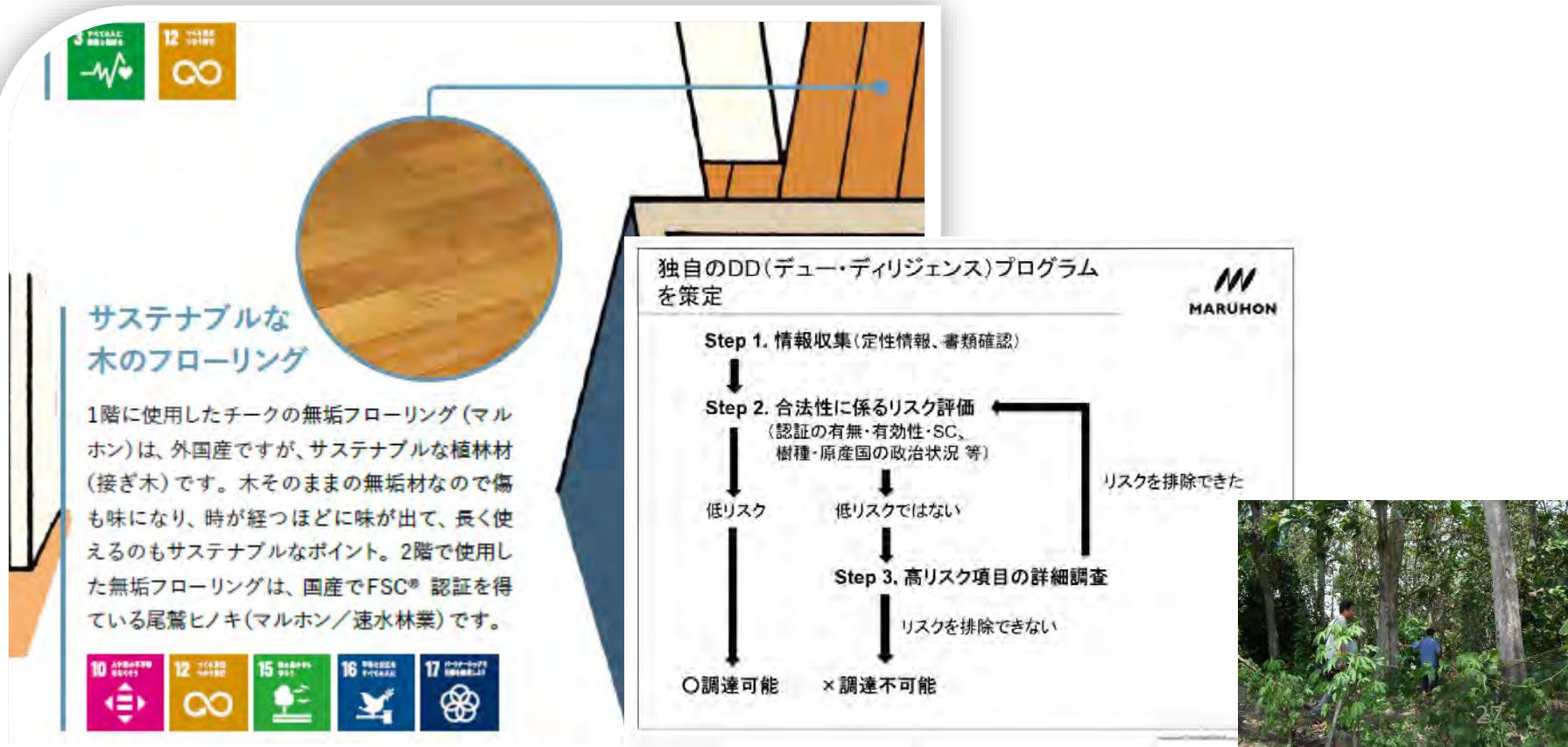
 **SDGs**

【今後の重要なキーワード】

Marketing and Sales dep.

デューデリジェンス:どこでどうつくられてどう運ばれてきたのかを明らかにする

- 企業価値やリスクの把握 ← 非財務情報や企業統治のあり方は投資の世界でも重要
- デューデリジェンス実施を海外にも広げることで、雇用創出や経済効果も



どこでどのようにつくられたか（食品の例）

2.4：2030年までに、持続可能な食料生産システムを確立し、レジリエントな農業を実践する。そのような農業は、生産性の向上や生産量の増大、生態系の維持につながり、気候変動や異常気象、干ばつ、洪水やその他の災害への適応能力を向上させ、着実に土地と土壤の質を改善する。

8.5：2030年までに、若者や障害者を含むすべての女性と男性にとって、完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい仕事を（ティーセント・ワーク）を実現し、同一労働同一賃金を達成する。

8.7：強制労働を完全になくし、現代的奴隸制と人身売買を終わらせ、子ども兵士の募集・使用を含めた、最悪な形態の児童労働を確実に禁止・撤廃するための効果的な措置をただちに実施し、2025年までにあらゆる形態の児童労働をなくす。

11.4：世界の文化遺産・自然遺産を保護・保全する取り組みを強化する。

素材が何か
どのような労働環境でつくられたか